

町内駐車場の利用状況調査を実施しました

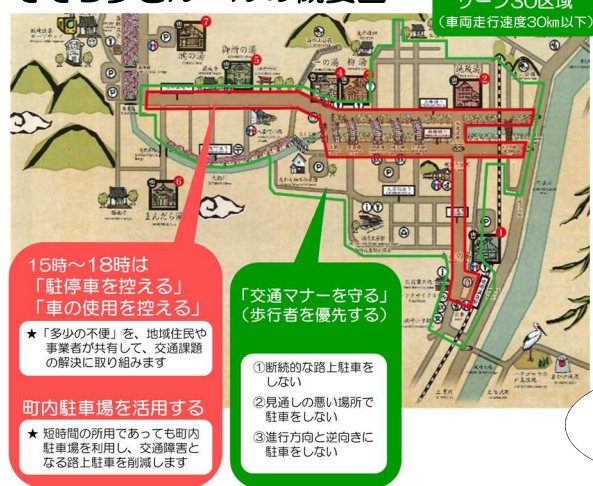
交通環境の改善に向けた混雑緩和策検討の基礎データを取得することを目的とし、駐車場の利用状況についての実態把握と、駐車場利用者を対象としたアンケート調査を実施しました。

調査結果を分析し、今後も検討を進めていきます。調査にご協力いただいた駐車場事業者、関係者の皆様、ありがとうございました。

＜調査実施日：2022年12月17日（土）＞



そぞろ歩きルールの概要図



地域の皆さんにご協力いただきたいこと

- ・荷捌き、集配等の業務時間などについて事業者間での調整。
- ・車を使用する時間帯の配慮。
- ・町内駐車場を活用し、路上駐車を削減することへの配慮。
- ・駐停車や走行速度など交通マナーについて従業員の方も含めた再認識。

さあ、みんなで話し合しましょう



地域一体となった「そぞろ歩きルールの実施」に関する取組みが関西まちづくり賞を受賞しました

【審査講評】

社会実験を通して、そぞろ歩きを妨げている車両を分析し、15時から18時に特定されたそぞろ歩きが多い時間帯に、駐停車や車の使用を控える自主ルールを制度化しました。

このルールは関係者が無理のない範囲で協力するという緩やかさに工夫が見られ、実効性をより確実にしていると考えられます。

地域理解のため回数を重ねる説明会、交通事業者・行政警察との連携など、観光地まちづくりに大いに参考となる点も評価されました。



関西まちづくり賞とは … 関西におけるまちづくりと都市計画の進歩・発展を目的に、日本都市計画学会関西支部が発展に著しい貢献をした優れた成果又は実績を選定し表彰するものです。

ルール認識度 チェック

「そぞろ歩きルール」のことをご存知でしたか？



周知活動の指標にするため左の二次元バーコードから簡単なアンケートにご協力ください。

「そぞろ歩きルール」などについて、ご不明点やご意見がありましたら、お気軽に協議会事務局または城崎振興局へお問い合わせください。

【事務局】 豊岡市役所都市整備部建設課 (担当：山崎、中島)
[FAX: 0796-24-8245 TEL: 0796-29-0010]
[E-mail: hiromi-yamazaki@city.toyooka.lg.jp]
城崎振興局 地域振興課 (担当：橋本)
[TEL: 0796-21-9065]



城崎そぞろ歩きニュース 2023年1月

～安心・安全にそぞろ歩きができるまちづくり～

発行：城崎温泉交通環境改善協議会 会長：西村総一郎、検討部会長：富田健太郎
事務局・お問い合わせ先：豊岡市都市整備部建設課 (山崎、中島) Tel. 0796-29-0010

城崎温泉の関係事業者によるワークショップを開催しました。

2022年12月22日、城崎温泉の事業者、約30人が参加し、「そぞろ歩きルール」の取り組みの推進と、将来の交通ネットワークを見据えた城崎温泉の魅力向上に向けた方策について話し合いました。

4つのグループに分け、各グループで活発な意見交換が行われました。

最後に各グループで出し合った課題や改善策などを発表していただき、今後の取り組みの進め方などについて確認しました。



★ ワorkshop開催の趣旨

城崎温泉の交通課題について関係者の各々が感じている問題点や改善策を共有し、相互の理解を深めることで、今後の取り組みの更なる推進を図ります。

★ ワorkshopで検討した項目

- ①現在の課題
- ②現在取り組んでいること
- ③今からでもできること・桃島バイパスがあればできること
- ④その実行手段



ワークショップの結果・まとめ

＜交通環境の改善に向けて、今からでもできること＞

- ・家族や従業員、事業者同士でルールのことを話し合い、さらに理解を深めていく。
- ・町内では、なるべく歩くことを心がける。
- ・歩行者のマナー改善について方策を考える。

＜桃島バイパスの整備にあわせてできること＞

- ・主要な路線での一方通行化。
- ・桃島バイパス周辺の駐車場化とシャトルバスの運行。
- ・交通量が減ることにより、様々な観光イベントを開催できる。

＜土井先生（協議会アドバイザー）の感想＞

配送時間の調整や車両の小型化など、各事業者が取り組んでいることを、お互いを知る良い機会になりました。

今後も皆さんから意見を集め、丁寧にまとめていくことが大切です。



「公共交通のトリセツ」ホームページより

現在の交通環境で困っていることは何ですか？

＜歩行者の目線＞

- ・車のスピードが速い
- ・路上駐車が多い
- ・車が多い
- ・道路が狭い

＜ドライバーの目線＞

- ・歩行者の歩き方（マナー）が問題
- ・駐車場が少ない
- ・大型車の離合
- ・歩行者との離合
- ・信号が長い
- ・無電柱のBOXがジャマ
- ・歩行者が多い

＜お店の目線＞

- ・歩行者の歩き方（マナー）が問題
- ・駐車場が少ない
- ・必要なさそうな駐停車が多い
- ・どうしても15～18時に配達が必要な事がある
- ・目の前に駐車し買い物される
- ・店の前に駐車されると、すぐに渋滞になってしまう

＜住民の目線＞

- ・歩行者の歩き方（マナー）が問題
- ・車のスピードが速い（通学送迎）
- ・路上駐車が多い
- ・観光バスの運転技術が未熟
- ・踏切が長い
- ・宿や駐車場を探す車がフワフワしている

＜その他＞

- ・車が多くて危ないとじゃらんのクチコミに書かれた
- ・駐車料金が安い

温泉街の交通環境をもっと改善させるために、できることを考えましょう。

今からでもできることは何ですか？

＜住民・事業者として＞

- ・ルールをもっと家族に周知する
- ・歩くことのメリットをつくる（ポイント付与など）
- ・ルールが観光客用と思っている住民が多いためもっと理解を深める
- ・お客様にルール遵守の声かけをする（交通マナー）

＜その他＞

- ・駐車場をつくる
- ・安全なバス停をつくる
- ・信号機の時間を更に改善する
- ・踏切の時間の短縮を要望する
- ・ルールの効果検証（コロナ後の状態で）

桃島バイパスがあればできることは何ですか？

＜歩行者を優先した空間づくり＞

- ・主要な路線での一方通行化
- ・歩行者の多い通りを避けた車の通行ができる
- ・交通量が減ることにより様々な観光イベントを開催できる
- ・バイパス周辺の駐車場化とシャトルバスの運行
- ・新しいバスルートの検討（玄武洞経由など）
- ・レンタサイクルシステム導入

＜課題＞

- ・新しい試みにより地元不便も生じる
- ・総論賛成、各論反対の人が多いと思う

現在、取り組んでいることは何ですか？

＜そぞろ歩きルールに関すること＞

- ・配達時間を前倒し、15～18時は配達しないようにした
- ・注文の受付を16時までに変更した
- ・ルール時間は車を停めていない
- ・町内に入るのは、10時以降の午前中としている
- ・急ぎの配達をお願いしないようにしている
- ・従業員にルールを周知している
- ・町内移動は歩きか自転車としている
- ・市営駐車場を利用している

＜その他の取り組み＞

- ・軽パンを使用
- ・お客様から、外湯送迎要望が多いがお断りしている
- ・歩行者を大切に思い、車のスピードを控えている
- ・仕方なく路駐する時は歩行スペースを空けている
- ・路線バスのサイズ変更（大型→中型）
- ・バスルートの検討
- ・トラックのサイズの小型化
- ・お客様が外湯に行かれる際、車に気を付けてと声をかけている

その取り組みによって何か変化を感じますか？

＜交通環境について＞

- ・業者の配送が午前中の1回になったため渋滞の解消につながっている
- ・横断歩道を渡る人を気に留めて運転するようになった
- ・木屋町駐車場の入庫待ち車両がなくなった
- ・用事がある時も駐車時間を短くしていると感じる

＜住民や事業者の意識＞

- ・注文や在庫の管理に気がつかうようになった
- ・在庫管理が以前より徹底されている
- ・車で出かける買い物は午前中に済ませるようになった
- ・ルール時間の受注連絡が減った
- ・出入り業者さんの意識が変わった
- ・問屋さんもルールに協力している

＜その他＞

- ・駐車車の時間を短くすると言っても全く我関せずというお店もある
- ・ルールの意識が薄れてきている

「今からできること」や「桃島バイパスがあればできること」を実行するためには誰が何をすればよいと思いますか？

＜住民＞

- ・このような会に積極的に参加して盛り上げていく
- ・町内の方には車を使わず歩くことを意識づける
- ・少し遠回りになっても、「駅通り」や「湯の里通り」を通らないようにする
- ・住民、事業者の協力が必要

＜事業者＞

- ・各事業者がドライバーの教育をしっかり行う
- ・発注担当者もルールを理解し協力体制を整える
- ・ホテルや旅館からお客様へ、交通ルールやマナー遵守のお願いをする
- ・桃島バイパスが整備された時の交通ルールに協力した業務づくり

＜行政機関など＞

- ・桃島バイパスと駐車場の早期整備
- ・街外れでの駐車場整備とシャトルバスの運行
- ・ルールの周知・広報
- ・木屋町通りの交通量の増加に備えた安全対策の実施

感想・意見

＜豊岡警察署＞

- ・速度違反や駐車違反など、状況を見て警察としても対策を検討する。
- ・歩行者のマナーに関して、歩行者向けのポスターを掲示するなど検討してはどうか。

＜豊岡市消防本部 城崎分署＞

- ・ルールが始まって以来、消火栓マンホール上での駐車が減った。
- ・今後も取り組みを継続してほしい。

＜豊岡土木事務所＞

- ・将来、一方通行化する路線を南柳通りや北柳通りにも拡大することや、スラローム化など物理的な対策を行うことを、今後も検討してはどうか。

＜芸術文化観光専門職大学＞

- ・桃島バイパスの整備に併せ、路線バスのルート変更を検討するという話は重要なポイント。
- ・地域の人達が乗り合っていくことも考え、マイカーを使わなくてもいい、利便性の高い公共交通を検討していくことが大事。